



2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月9日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社
コード番号 6380 URL <https://www.ocm.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 西村 武
問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー (氏名) 林 泰弘 TEL 076-276-1155
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,082	4.6	201	73.9	219	53.5	149	58.9
2023年3月期	3,904	16.3	116	7.4	143	21.0	93	232.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	107.67		9.1	4.9	4.9
2023年3月期	67.75		6.2	3.4	3.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,666	1,732	37.1	1,249.88
2023年3月期	4,229	1,552	36.7	1,119.81

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,732百万円 2023年3月期 1,552百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	321	297	82	357
2023年3月期	80	236	64	250

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		20.00	20.00	27	29.5	1.8
2024年3月期		15.00		15.00	30.00	41	27.9	2.5
2025年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00		26.3	

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,082	3.5	113	4.7	115	9.8	74	14.5	54.09
通期	4,183	2.5	241	19.5	243	10.5	157	5.8	113.97

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	1,467,233 株	2023年3月期	1,467,233 株
期末自己株式数	2024年3月期	81,315 株	2023年3月期	81,158 株
期中平均株式数	2024年3月期	1,385,971 株	2023年3月期	1,386,160 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられたため、国内外において経済活動の制限が緩和され、企業の生産活動や設備投資には持直しの動きが見られました。一方、ロシア・ウクライナ情勢や中東地域をめぐる情勢を背景とした資源価格等の高騰、多岐に及ぶ物価の高騰、為替市場の円安の長期化等、景気に悪影響を及ぼす様々な要因があり、先行きは依然として不透明な状況が継続すると見込まれます。

このような状況下において当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高めるとともに、受注拡大に向けての製品の差別化を行い、お客様の要望に沿った特殊品分野への営業活動を強化しております。

また、コスト削減を継続し、特に工場の人的生産性を高める取り組みを引き続き強化しております。

この結果、当事業年度の業績は、売上高は4,082百万円(前期比4.6%増)となり、増収による影響で、営業利益201百万円(前期比73.9%増)、経常利益219百万円(前期比53.5%増)、当期純利益149百万円(前期比58.9%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、土木建機業界向け等一部減少がみられましたが、搬送機械業界・運搬機械業界や食品機械業界向けが大きく増加しました。一方、輸出においては、前年好調であった北米向けが減少しましたが、中南米向けが大きく増加し、アジア向けも堅調に推移しました。これらの結果、売上高は3,837百万円(前期比5.3%増)営業利益は365百万円(前期比46.4%増)となりました。

②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大を図る営業活動を行っておりますが、自動車業界向けのスポット受注がなくなりました。その結果、売上高は207百万円(前期比17.4%減)、営業利益は27百万円(前期比45.7%減)となりました。

③不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、売上高は37百万円(前期比405.9%増)、営業利益は23百万円(前期は営業損失12百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当期末における総資産は4,666百万円で、前期末に比べ436百万円増加しました。これは、前期末と比べ、増収による売上債権の増加等を主要因として、流動資産が2,706百万円と218百万円増加したこと(現金及び預金106百万円、売掛金が96百万円増加)、また、工場増築工事開始に伴う有形固定資産の増加を要因として、固定資産が1,959百万円と217百万円増加(有形固定資産が123百万円、投資その他の資産が91百万円増加)したことによるものです。

(負債)

当期末における負債合計は、2,933百万円で、前期末に比べ256百万円増加しました。これは、工場増築に関連した借入金の増加を主要因として流動負債が1,719百万円と243百万円増加したこと(短期借入金が138百万円増加、未払金が52百万円増加)、また、固定負債が1,214百万円と12百万円増加したこと(退職給付引当金が14百万円増加)によるものです。

(純資産)

当期末における純資産は、1,732百万円で、前期末に比べ180百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は、前期末の36.7%から、当期末は37.1%になりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は357百万円となり、前期末は250百万円で42.7%増加しました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は321百万円(前期は80百万円の収入)となりました。これは主に、税引前当期純利益215百万円、減価償却費202百万円、売上債権の増加110百万円、未払消費税の増加35百万円、法人税等の支払額55百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は297百万円(前期は236百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出290百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は82百万円(前期は64百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の借入による収入291百万円、短期借入金の借入による収入138百万円、長期借入金の返済による支出299百万円、配当金の支払47百万円によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第103期 2022年3月期	第104期 2023年3月期	第105期 2024年3月期
自己資本比率 (%)	35.4	36.7	37.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	21.9	32.4	57.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	6.7	16.8	4.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	20.5	9.1	31.6

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式を控除)により計算しております。

※営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、企業収益の改善等による設備投資の増加等の要因により景気の回復が期待されますが、ロシア・ウクライナ情勢や中東地域をめぐる情勢を背景とした原材料・燃料価格等の高騰、為替市場の円安の長期化、国内金利の上昇等、様々なリスク要因が多く、先行きについては不透明な経営環境が続くと見込まれます。

このように先行きは厳しい状況が続くと予想されますが、当社は、当事業年度を初年度とする2026年3月期までの「第7次3か年中期経営計画」に基づき、ナンバーワン・オンリーワン製品の提案を積極的に推進していくことで、売上の確保をはかるとともに、更なる生産性の改善に取り組んで収益性を高めてまいります。

翌事業年度には外注先を子会社として取り込み、チェーン事業の中のスプロケット類の規模拡大と収益性の強化を図ります。また、金属射出成形事業の需要増に応えるため工場の増築を行います。

以上のことから、翌事業年度の業績見通しにつきましては、売上高4,183百万円(当期比2.5%増)、営業利益241百万円(同19.5%増)、経常利益243百万円(同10.5%増)、当期純利益157百万円(同5.8%増)を予想しております。

なお、上記見通しは新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、緩やかに経済活動が回復傾向になると想定したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分につきましては、経営状況に応じた配当を行うことを基本としつつ、配当性向の維持向上ならびに今後の会社発展のための企業体質強化に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定していくことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、今後も継続して配当を行うことを考慮し、1株当たり15円の期末配当を行うこととしました。

また、次期の配当につきましては、安定的な株主還元を経営上の重要課題の一つと位置づけ、1株当たり中間配当金15円、期末配当金15円の年間配当金30円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	300,260	407,181
受取手形	249,985	155,223
電子記録債権	447,524	555,951
売掛金	498,040	594,562
商品及び製品	196,139	191,772
仕掛品	433,302	460,112
原材料及び貯蔵品	348,573	324,234
前払費用	8,541	10,534
未収入金	1,652	442
その他	4,259	6,572
貸倒引当金	△300	△250
流動資産合計	2,487,978	2,706,337
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,497,914	1,511,873
減価償却累計額	△1,108,656	△1,132,495
建物(純額)	389,258	379,377
構築物	152,766	152,766
減価償却累計額	△135,068	△137,639
構築物(純額)	17,697	15,126
機械及び装置	4,311,916	4,420,748
減価償却累計額	△3,792,795	△3,890,157
機械及び装置(純額)	519,120	530,590
車両運搬具	57,972	61,372
減価償却累計額	△51,251	△53,964
車両運搬具(純額)	6,721	7,408
工具、器具及び備品	1,026,159	1,042,196
減価償却累計額	△977,274	△1,009,720
工具、器具及び備品(純額)	48,885	32,476
土地	339,490	339,490
建設仮勘定	17,197	157,801
有形固定資産合計	1,338,371	1,462,272
無形固定資産		
電話加入権	1,914	1,914
ソフトウェア	14,103	9,184
ソフトウェア仮勘定	64,750	71,990
無形固定資産合計	80,767	83,088
投資その他の資産		
投資有価証券	95,248	176,616
関係会社出資金	5,873	5,873
長期前払費用	124	92
繰延税金資産	104,441	111,016
その他	116,903	120,704
投資その他の資産合計	322,592	414,303
固定資産合計	1,741,730	1,959,664
資産合計	4,229,709	4,666,001

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	531,051	517,618
買掛金	187,480	188,603
短期借入金	235,000	373,000
1年内返済予定の長期借入金	254,921	256,920
未払金	80,391	132,858
未払費用	32,187	36,577
未払法人税等	31,373	56,799
契約負債	19,083	7,903
賞与引当金	48,093	65,097
設備関係支払手形	42,181	60,506
その他	14,061	23,686
流動負債合計	1,475,825	1,719,570
固定負債		
長期借入金	866,100	864,188
退職給付引当金	289,280	303,660
役員退職慰労引当金	27,890	27,890
長期預り保証金	18,467	18,467
固定負債合計	1,201,738	1,214,206
負債合計	2,677,564	2,933,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金		
資本準備金	168,230	168,230
利益剰余金		
利益準備金	4,393	9,245
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	354,626	450,493
利益剰余金合計	359,020	459,738
自己株式	△50,569	△50,821
株主資本合計	1,543,630	1,644,097
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,514	88,126
評価・換算差額等合計	8,514	88,126
純資産合計	1,552,144	1,732,224
負債純資産合計	4,229,709	4,666,001

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高		
製品売上高	3,302,187	3,412,793
商品売上高	595,100	632,317
その他の売上高	7,392	37,399
売上高合計	3,904,680	4,082,510
売上原価		
製品期首棚卸高	120,224	141,598
商品期首棚卸高	50,874	54,540
当期製品製造原価	2,780,843	2,792,331
当期商品仕入高	500,326	498,791
合計	3,452,267	3,487,260
他勘定振替高	7,859	9,140
製品期末棚卸高	141,598	140,583
商品期末棚卸高	54,540	51,189
その他の原価	20,049	14,193
売上原価合計	3,268,317	3,300,542
売上総利益	636,362	781,967
販売費及び一般管理費		
販売費	358,553	374,695
一般管理費	161,688	205,298
販売費及び一般管理費合計	520,241	579,993
営業利益	116,121	201,973
営業外収益		
受取利息	18	5
受取配当金	3,200	3,428
為替差益	10,190	13,902
保険解約返戻金	19,476	6,086
その他	5,398	12,086
営業外収益合計	38,284	35,509
営業外費用		
支払利息	8,768	9,546
支払手数料	1,200	8,036
その他	1,206	51
営業外費用合計	11,174	17,634
経常利益	143,231	219,848
特別利益		
固定資産売却益	149	—
特別利益合計	149	—
特別損失		
固定資産廃棄損	1,330	0
投資有価証券評価損	—	4,707
特別損失合計	1,330	4,707
税引前当期純利益	142,050	215,141
法人税、住民税及び事業税	46,111	77,390
法人税等調整額	2,030	△11,478
法人税等合計	48,141	65,911
当期純利益	93,909	149,229

製造原価明細書

		前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		1,491,839	51.8	1,445,621	50.5
II 労務費		798,717	27.7	834,473	29.2
III 経費	※1	592,378	20.5	580,951	20.3
当期総製造費用		2,882,935	100.0	2,861,046	100.0
期首仕掛品棚卸高		383,623		433,302	
他勘定受入高		7,413		8,798	
合計		3,273,973		3,303,147	
他勘定振替高	※2	59,827		50,703	
期末仕掛品棚卸高		433,302		460,112	
当期製品製造原価		2,780,843		2,792,331	

(注) ※1. 経費のうち主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
外注加工費 (千円)	162,606	147,493
減価償却費 (千円)	177,061	182,059
電力料 (千円)	106,838	110,690

※2. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
その他(廃材発生高等) (千円)	59,827	50,703

(原価計算の方法)

伝動用ローラチェーン及びスプロケット類については総合原価計算を行っております。

売上原価明細

その他の原価の内訳は次のとおりであります。

		前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
賃貸原価		20,049	100.0	14,193	100.0

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		
				繰越利益剰余金		
当期首残高	1,066,950	168,230	4,393	260,717	△50,433	1,449,857
当期変動額						
当期純利益				93,909		93,909
自己株式の取得					△135	△135
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	93,909	△135	93,773
当期末残高	1,066,950	168,230	4,393	354,626	△50,569	1,543,630

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	6,875	6,875	1,456,733
当期変動額			
当期純利益			93,909
自己株式の取得			△135
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,638	1,638	1,638
当期変動額合計	1,638	1,638	95,411
当期末残高	8,514	8,514	1,552,144

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		
				繰越利益剰余金		
当期首残高	1,066,950	168,230	4,393	354,626	△50,569	1,543,630
当期変動額						
剰余金の配当				△48,511		△48,511
利益準備金の積立			4,851	△4,851		—
当期純利益				149,229		149,229
自己株式の取得					△251	△251
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	4,851	95,867	△251	100,466
当期末残高	1,066,950	168,230	9,245	450,493	△50,821	1,644,097

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	8,514	8,514	1,552,144
当期変動額			
剰余金の配当			△48,511
利益準備金の積立			—
当期純利益			149,229
自己株式の取得			△251
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	79,612	79,612	79,612
当期変動額合計	79,612	79,612	180,079
当期末残高	88,126	88,126	1,732,224

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	142,050	215,141
減価償却費	194,497	202,236
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,909	17,003
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△16,935	14,379
受取利息及び受取配当金	△3,218	△3,433
支払利息	8,768	9,546
為替差損益 (△は益)	△2,472	135
固定資産売却損益 (△は益)	△149	—
固定資産廃棄損	1,330	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,707
支払手数料	1,200	8,036
売上債権の増減額 (△は増加)	△64,478	△110,186
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△160,219	1,895
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,091	△12,310
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,355	35,395
長期前払費用の増減額 (△は増加)	31	31
その他	△10,050	1,997
小計	152,721	384,526
利息及び配当金の受取額	3,218	3,433
利息の支払額	△8,841	△10,198
法人税等の支払額	△66,548	△55,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,551	321,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,560	△1,558
有形固定資産の取得による支出	△214,442	△290,379
有形固定資産の売却による収入	149	—
無形固定資産の取得による支出	△48,949	△8,010
貸付けによる支出	△600	—
貸付金の回収による収入	920	293
定期預金の預入による支出	△100,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
預り保証金の受入による収入	18,467	—
預り保証金の返還による支出	△18,467	—
その他	27,521	2,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,961	△297,489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	45,000	138,000
長期借入れによる収入	698,800	291,963
長期借入金の返済による支出	△678,918	△299,913
自己株式の取得による支出	△135	△251
配当金の支払額	—	△47,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,746	82,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,472	△135
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△89,191	106,921
現金及び現金同等物の期首残高	339,452	250,260
現金及び現金同等物の期末残高	250,260	357,181

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)
【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品別のセグメントから構成されており、「チェーン事業」、「金属射出成形事業」、「不動産賃貸事業」の3つを報告セグメントとしております。

「チェーン事業」は、伝動用ローラチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット類の製造を行っております。「金属射出成形事業」は金属射出成形加工による製品の製造を行っております。「不動産賃貸事業」は東京都において賃貸用のオフィスビルを有しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、財務諸表作成のために採用している会計処理方法と同一であります。

棚卸資産の評価については、収益性の低下に基づく簿価切下げ後の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,645,737	251,550	7,392	3,904,680	—	3,904,680
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,645,737	251,550	7,392	3,904,680	—	3,904,680
セグメント利益又は損失 (△)	249,527	50,379	△12,656	287,250	△171,129	116,121
セグメント資産	3,095,945	157,097	290,368	3,543,412	686,297	4,229,709
その他の項目						
減価償却費	174,218	8,021	6,873	189,112	5,384	194,497
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	191,476	2,248	—	193,724	15,739	209,463

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社管理の資産であり、現金及び預金、本社有形固定資産、無形固定資産、投資有価証券等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,837,410	207,700	37,399	4,082,510	—	4,082,510
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,837,410	207,700	37,399	4,082,510	—	4,082,510
セグメント利益	365,372	27,347	23,206	415,925	△213,951	201,973
セグメント資産	3,342,150	154,175	282,471	3,778,797	887,204	4,666,001
その他の項目						
減価償却費	181,088	6,079	6,760	193,927	8,308	202,236
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	254,348	72,601	542	327,491	967	328,458

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社管理の資産であり、現金及び預金、本社有形固定資産、無形固定資産、投資有価証券等であります。
2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米	その他	合計
3,049,392	356,507	417,393	81,386	3,904,680

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産はないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米	その他	合計
3,221,484	389,378	332,389	139,257	4,082,510

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産はないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,119.81	1,249.88
1株当たり当期純利益	67.75	107.67

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益(千円)	93,909	149,229
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	93,909	149,229
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,386	1,385

(重要な後発事象)

該当事項はありません。